

令和3年度 児童発達支援自己評価集計表

クローバーキッズ長与

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5		活動を行う中で児童の距離やスペースが狭くならないように活動を行っています。
	2	職員の配置数は適切であるか	5		
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	5		児童が片付けなど分かりやすくできるよう絵や写真を用いて可視化を行っています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	5		児童の目線に危険な物を置かないようにし、清潔な環境を保てるように遊具の消毒などを行っています。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	5		活動の中で改善点を話し合い次の活動をより良い活動に出来るように定期的にミーティングを行っています。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5		評価表を真摯に受け止め改善すべき点を職員間で話し合っ改善できるようにしています。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5		
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		5	外部評価なし。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5		リモートでの社内研修を行いスキルアップが出来るようにしています。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	5		関係機関との情報共有を行いながら計画作成を行っています。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5		
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	5		ガイドラインに沿って課題点の洗い出しを行いながら目標設定を行い必要な支援が出来るようにしています。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	5		
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5		児童一人一人の目標を考えながらミーティングを行っています。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5		活動のマンネリ化にならないように話し合いながら活動しています。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	5		活動プログラムの中に児童に応じて活動を変えながら支援しています。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5		活動内容のすり合わせを行い、活動準備や役割分担を行っています。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5		終業時支援の振り返りを行い改善点などを話し合っています。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5		日々の児童の変化を職員間で話し合いながら支援に繋げています。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	5		必要に応じて目標を変更し見直しを行っています。

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5			
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	5		コロナ禍で訪問での情報共有を行う事は出来ませんが電話での情報共有を行っています。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか				医療的ケア児の受け入れを行っていません。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか				医療的ケア児の受け入れを行っていません。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	5			コロナ禍で訪問での情報共有を行う事は出来ませんが電話での情報共有を行っています。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	5			コロナ禍で訪問での情報共有を行う事は出来ませんが電話での情報共有を行っています。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5			
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	5			
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	5			コロナ禍で中止になる事がありますが開催される際は参加しています。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5			利用状況の報告と家での様子などをお聞きしながら発達の状況、課題についての共通理解が出来るようにしています。
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	3	2		自宅での児童の様子をお聞きしながら助言を行っています。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5			分からない箇所が無いが保護者様にお聞きしながら説明を行っています。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	5			計画書をお見せして支援内容を確認して頂きながら目標や支援のねらいなどの説明をして同意して頂いています。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5			施設側から悩み事が無いかわり、必要に応じて助言などの支援を行っています。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	5			保護者様同士の関りが持てるように考えていますがコロナ禍で開催出来ない現状です。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5			苦情相談窓口の設置を行い、苦情がはあった際は迅速に対応できるようにしています。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5			活動報告を適宜行いながら情報提供しています。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	5			
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5			
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			5	地域住民の方を招待することは行えていません。

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	5	職員への周知、保護者様への周知が出来るようにしています。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5	訓練を行いながら災害時迅速な対応が出来るようにしています。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	5	事前に既往歴などをお聞きしてアセスメントを行っています。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5	アセスメントを取ってアレルギーの把握は行っています。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5	ヒヤリハットは事業所内で出しあいながらスタッフ間で共有しています。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5	社内研修を行いながらスキルアップが出来るようにしています。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	5	身体拘束に関して保護者様に説明をしたうえで計画書への記載を行っています。